

### 今回の金融危機と米国クレジットユニオン

古江 晋也

#### 要旨

・米国クレジットユニオンは、組合員に金融サービスを提供する一般のクレジットユニオン、一般のクレジットユニオンを組合員とするコーポレート・クレジットユニオン、中央機関である US セントラル・フェデラル・クレジットユニオン (US セントラル) の三段階の組織で構成されている。  
 ・金融危機が深刻化するなか、2009 年 3 月には US セントラルを含む 2 つのコーポレート・クレジットユニオンが米国クレジットユニオン管理庁 (NCUA) の管理下に置かれた。NCUA は「コーポレート安定化計画」を通じてクレジットユニオン・システムの健全化に取り組んでいる。

#### はじめに

近年の米国住宅ローンの延滞増加と住宅価格の大幅な下落に端を発した金融危機はクレジットユニオンにも大きな影響を与えている。とりわけ、「クレジットユニオンのクレジットユニオン」と呼ばれるコーポレート・クレジットユニオン(以下、「コーポレート」)への影響は大きく、コーポレート安定化計画が策定されるまでに至っている。そこで本稿では米国クレジットユニオン管理庁(写真 1 参照・以下、「NCUA」)のプレスリリースをもとにコーポレート安定化計画を概観する。

#### クレジットユニオン・システム

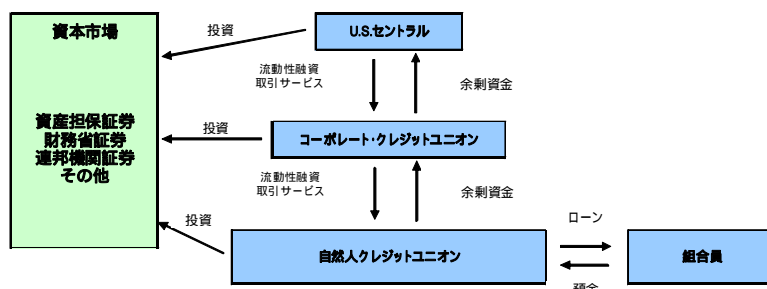
米国クレジットユニオンは組合員に金融サービスを提供する「自然人クレジットユニオン」と呼ばれる一般のクレジットユニオンのほかに、自然人クレジットユニオンを組合員とするコーポレートがある。コーポレートは現在、全米に 28 組合があり、そのうちの 1 組合が中央機関としての役割を担って

いる「US セントラル・フェデラル・クレジットユニオン(以下、「US セントラル」)」である(図表 1 参照)。

コーポレートの役割は、自然人クレジットユニオンの余剰資金の運用、自然人クレジットユニオン間の決済サービスや流動性の供給などであるが、その資産規模は各コーポレートによって大きく異なっている。なお、2008 年 3 月末時点での上位 3 つのコーポレートの資産規模は US セントラルが 327 億 4,481 万ドル、ウェスタン・コーポレートが 243 億 9,095 万ドル、メンバーズ・ユナイテッドが 82 億 7,733 万ドルである(注1)。

前述した通り、コーポレートは自然人クレジットユニオンからの余剰資金の運用を行っているが、近年の金融危機によ

図表1 クレジットユニオン・システム



(出典) United States Department of the Treasury [1997] Credit Unions, December, p.86.

って大幅な減損を迫られることとなり、クレジットユニオン・システムも大きな岐路に立った。

(注<sup>1</sup>)CUNA[2009]Credit Union Report Yearend 2008.

### 流動性保証と住宅ローンの見直し

2008年10月、NCUAは一時的コーポレート・クレジットユニオン流動性保証プログラム(Temporary Corporate Credit Union Liquidity Guarantee Program、以下「流動性保証プログラム」)を承認した(注<sup>2</sup>)。同プログラムはコーポレートが新たに発行した無担保負債証券(unsecured debt obligations)を全米クレジットユニオン預金保険基金(National Credit Union Insurance Fund、以下「預金保険基金」)が保証する取組みであり、プログラム参加クレジットユニオンに対して債務保証残高をもとに年間75bp(=0.75%bp)の手数料を課すこととした。このプログラムは、連邦預金保険公社が発表した「一時的流動性保証プログラム(Temporary Liquidity Guarantee program)」と同じであり、期間は08年10月16日から09年6月30日までとされた(注<sup>3</sup>)。

また12月には、クレジットユニオン住宅所有者負担救済プログラム(Credit Union Homeowners Affordability Relief Program、以下「救済プログラム」)とクレジットユニオン・システム投資プログラム(Credit Union System Investment Program、以下「投資プログラム」)が公表された(注<sup>4</sup>)。救済プログラムは住宅価格の下落により、住宅ローンの延滞や破産などに直面した組合員の住宅ローンを見直すことで、住宅ローンの金利負担などを軽減することを目的として創設され

### 写真1 NCUA 本部



た。

救済プログラムの下では、適格クレジットユニオンが救済プログラム手形(Note)に投資できるようにNCUA内の中央流動性機関(Central Liquidity Facility)がクレジットユニオンに貸付を行う。手形の利率は中央流動性機関の貸付利率を最大で1%上回ることとされ、これが組合員の住宅ローンの見直しの原資となる。救済プログラム手形は預金保険基金が保証を行っている。

一方、クレジットユニオンは投資プログラムのスキームによって中央流動性機関から資金を借入れ、コーポレートに資金を提供する。この資金はコーポレートの外部債務を返済することに活用され、流動性を高めるとともに救済プログラムを補完することを目的とした。

(注<sup>2</sup>)NCUA[2008]Media Advisory, October 16.

(注<sup>3</sup>)その後、流動性保証プログラムは保証期間終了日を2010年6月30日にまで延長され、手数料も負債の満期期間に応じて変化することにした(NCUA[2008]Media Advisory, May 21.)

(注<sup>4</sup>)NCUA[2008]Media Advisory, December 9.

### US セントラルとウェスコープ

大手投資銀行リーマン・ブラザーズの経営破綻以降、金融市場の混乱はさらに深刻度を増し、コーポレートの財政状態

図表2 預金保険基金エクイティ・レシオの推移

NCUSIF資本勘定	09年1月初め	1月28日以降	3月19日以降	安定化基金以降	パスバックと再資本化
資本預金	1.000%	0.490%	0.310%	0.310%	1.000%
内部留保	0.270%	0.000%	0.000%	0.947%	0.257%
エクイティ・レシオ	1.270%	0.490%	0.310%	1.26%	1.257%

(出典)NCUA[2009] Regulatory Reporting of 2009 Insurance Expenses, Enclosure A

も悪化した。なかでも US セントラルは総資産の約 80%を投資有価証券が占め、07年 12 月末時点では売却可能有価証券の 56.7%が非エージェンシー・住宅ローン担保証券に、32%が資産担保証券に投資されていた。しかし、市場が急落するなか、US セントラルの累積その他の包括損失は08年9月末に38億ドルにも上った<sup>(注5)</sup>。

こうしたなか09年1月、NCUA 理事会はコーポレートを支援するための一連の取組みを認可することを表明。その取組みとは、US セントラルに10億ドルの資本注入を行う、すべてのコーポレートの無保証の預金を09年2月末まで保証し、そのためのプログラムを任意で創設する、

コーポレート・システムを再構築するために公的規制を制定する、預金保険基金の準備金比率(自己資本比率)を1.3%とするため、09年に保険料を賦課する、ことであった<sup>(注6)</sup>。NCUA はその後、すべてのコーポレートが保有している不動産担保証券および資産担保証券の詳細な分析とストレステストを行った結果、US セントラルとウェスタン・コーポレート・フェデラル・クレジットユニオン(以下「ウェスコープ」)に大きなリスクがあると判断した。そして3月にNCUA はUS セントラルとウェスコープを管理下に置くことを決定した<sup>(注7)(注8)</sup>。

2009年3月には、1月にNCUA 理事会で承認された任意の一時的コーポレート・クレジットユニオン預金保証プログラム

(Temporary Corporate Credit Union Share Guarantee Program: 以下「預金保証プログラム」)が開始された。期間は2009年3月1日から2010年12月末までとされたが、その後は最長で2014年12月末にまで拡大することが可能となった<sup>(注9)(注10)</sup>。預金保証プログラムは23のコーポレートが参加している。

<sup>(注5)</sup>U.S. Central Federal Credit Union [2007] Audited Financial Statement, [2008] Third-Quarter Financial Supplement.

<sup>(注6)</sup>NCUA[2009] Media Release, January 28.

<sup>(注7)</sup>NCUA[2009]Media Advisory, March 20.

<sup>(注8)</sup>ロイターによれば、市場価格の下落などにより5月の段階で準備金の負債は約59億ドルと見積もられた(5月21日)。

<sup>(注9)</sup>NCUA[2009]Media Release, March 2.

<sup>(注10)</sup>NCUA[2009]Media Advisory, April 21.

## 2009年住宅保護支援法と安定化基金

2009年5月、米国議会で2009年住宅保護支援法(The Helping Families Save Their Homes Act of 2009)が成立し、これによって連邦クレジットユニオン法が修正された<sup>(注11)</sup>。そして、一時的コーポレート・クレジットユニオン安定化基金(Temporary Corporate Credit Union Stabilization Fund: 以下「安定化基金」)の創設、預金保険基金のエクイティ・レシオを回復するための期間の延長、財務省からのNCUA借入権限の増加(60億ドル)と300億ドルのNCUA緊急借入権限などが盛り込まれた。

**図表3 付保クレジットユニオンに対する見積保険料請求額**

見積請求額 (Estimated Billing)	安定化基金前の見積	新たな情報に基づいた見積
預金	0.690%	0.000%
保険料	0.300%	0.150%
合計	0.990%	0.150%
保険補填限度額	一勘定当たり10万ドル	一勘定当たり25万ドル

(出典)NCUA[2009] Regulatory Reporting of 2009 Insurance Expenses, Enclosure A

安定化基金はNCUAに管理され、預金保険基金とは別に設立された。安定化基金はコーポレートの管財・清算などに関連した支出にのみ財務省から借入ができる。同基金は最初の借入から7年以内に借入金と利息の返金を行わなければならないが、財務省の承認があれば、延長も可能である。安定化基金が十分な資金を有しない場合、必要な資金を預金保険基金が付保するクレジットユニオンに課すことになる。安定化基金の設立を受けて、同基金は09年1月に実施されたUSセントラルのキャピタルノートを買取るため、預金保険基金に10億ドルを支払った。

一方、預金保険基金はUSセントラルへのキャピタルノートに100%の見積り損失引当金を計上していたが、安定化基金に引き継がれることによって内部留保を向上することができ、預金保険基金のエクイティ・レシオが向上することとなった。さらに、預金保険基金のエクイティ・レシオが1.2%を下回った場合、エクイティ・レシオを回復するために8年を超えて保険料を賦課する権限も付与された。

(注<sup>11</sup>)NCUA[2009] NCUA LETTER TO CREDIT UNIONS, June .

### NCUSIF エクイティ・レシオの変動

図表2は預金保険基金のエクイティ・レシオの推移を表したものである。2009年初は1.27%（資本預金1%・内部留保

0.27%）であったが、09年1月に実施された一連の安定化策により、0.49%へと下落した。また3月には2つのコーポレートがNCUAの管理下に置かれたことでエクイティ・レシオは0.31%にまで低下した。

そのため、預金保険基金はコーポレートの債権債務を安定化基金に譲渡するとともに、法的な義務の免除を通じて預金保険基金の収益を回復させ、クレジットユニオンの所得となるように移転（pass-back）すると同時に、NCUSIFに再投資を行うこととした。これによって資本預金の1%は回復したことになる。

一方、多くのクレジットユニオンは保険料の賦課のために見積費用と偶発債務を計上（見積付保預金保険料の0.3%）していたが、保険補填限度額が25万ドルまで引上げられたことなどから調整が生じ、多くの変動要因があるもの見積保険料請求額は0.15%とされた。図表3は預金保険基金の見積保険料請求額であり、理事会が付保クレジットユニオンに徴収する請求額は実質的に減少することになる。

### おわりに

金融危機が深刻化するなか、2つのコーポレートがNCUA管理下に置かれることになった。この事態に対してNCUAは自然人クレジットユニオンの実質的な負担を最小限に抑えるとともに預金保険基金の財政状態を健全化させるためさまざまな努力がなされてきた。しかしコーポレートが安定化に向かうかどうかは、依然として予断を許さない状況が続くと思われる、今後のクレジットユニオン業界の対応に注目が集まっている。